

近畿大学発スタートアップ企業「株式会社X e r」に 大阪シティ信用金庫と日本政策金融公庫が協調で資金支援

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 福岡 寛）は、株式会社X e r（本社 奈良県生駒市、代表取締役 高橋亮太郎、近畿大学大学院在学）に対し、今後の事業資金として、日本政策金融公庫 東大阪支店国民生活事業と協調融資を実行しました。

同社は、「A I エージェントで生産性革命を」というコンセプトのもと、手間のかかる作業をA I が担うことで、人がより重要な業務に集中できる社会を目指す、近畿大学発のスタートアップ企業です。同社が提供するA I サービス「S p e c k C h e c k（スペックチェック）」は、システム開発の最初の工程である要件定義や設計などを支援するサービスで、すでに大手S l a rをはじめとする企業で導入されています。

当金庫は、同社に対し、令和5年および令和6年の「K I N D A I B U S I N E S S C O N T E S T」において、アイデア段階、事業開始後のそれぞれのタイミングで大阪シティ信用金庫賞を授与し、継続的に伴走支援してきました。今後も、ビジネスコンテストへの協力等で新たなビジネスアイデアを後押しするとともに、各機関と連携し、地域の中小企業の事業の発展を積極的に支援してまいります。

記

【会社概要】

企 業 名	株式会社X e r	代表取締役	高橋 亮太郎
所 在 地	〒630-0212 奈良県生駒市辻町220-1		
拠 点	東大阪市小若江3-6-9 K I N C U B A B a s e c a m p		
設 立	令和5年9月	資 本 金	100万円
ホームページ	https://xerstartup.com		
問い合わせ先	info@xerstartup.com		

以 上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。



「S p e c k C h e c k（スペックチェック）」

本サービスは、開発の土台となる「仕様書（システムをどのように作るかをまとめた文書）」をA Iが作成・点検するシステムです（図1）。



図1 S p e c k C h e c kの画面イメージ

システム開発では、要件整理から設計、仕様書の作成といった上流工程に多くの工数がかかります。さらに、その品質は担当者の経験に左右されやすく、抜け漏れや矛盾が後の工程での手戻りにつながりやすいという課題がありました。

S p e c k C h e c kは、関連資料を登録するだけで、要件定義から設計までの仕様書をA Iが自動で作成します。情報が足りない点はA Iの方から利用者に質問（逆質問）して抜け漏れを防ぎ、記載の根拠も併せて示すため、確認作業を効率化できます（図2）。

1 関連資料を貼るだけで、仕様書を自動生成

2 足りない点はAIが逆質問。漏れを防ぐ安心設計

3 エビデンス込みで記載し、レビュー業務を効率化

大手S l a rでの導入では、上流工程の作業負担を大幅に削減しながら、A Iが生成・指摘した内容の多くを社内の専門家が「妥当」と評価しました。これにより、担当者は本当に判断が必要な部分だけに時間を使えるようになり、開発全体の質とスピードの向上が期待できます。

今後もS p e c k C h e c kの改良と導入支援を通じて、業種を問わず多くの企業の業務効率化に貢献してまいります。